

It's A True Linear Sound Source !!

SOUND POLE series



REOS plane wave speaker system for Professional Audio Systems

【正真正銘の線状音源スピーカシステム】

SOUND POLE seriesは、独自の特許技術【PMAS方式™の新型平面波スピーカユニット】【独立バックキャビティアレイ™】の採用により、全帯域において極めて均一な1本の線状の扇型音波面の形成をローコストかつ業務音響機器水準の基本性能を備えた形で実現した、今までにない理想的な線状音源特性を有する**正真正銘のラインアレイスピーカシステム**です。

線状音源(ラインアレイ)スピーカとは・・・

同じ特性の音源(単体SPユニット)を縦方向へ密に配置する事により、複数のSPユニットを1本の『線状の音源』として動作させるスピーカシステムです。垂直方向への音の拡散がほとんど無く、水平方向のみへ音が集中・拡散する特性があり、距離による音圧レベルの減衰を抑えるメリットやハウリングに強いというメリットも持ち、現在その効果は幅広シーンで認知され様々な用途で使用されています。

【PMAS方式™ 平面波スピーカユニット】※特許取得済

SOUND POLE series の開発にあたりREOSではラインアレイを構成するスピーカユニット(以下SPユニット)自体から構造の見直しを図りました。一般的な丸型コーンSPユニットのアレイが抱えるユニット間距離からくる不正干渉や、大きなユニット口径が原因となる指向特性/遠達性の帯域間のバラツキを解消する為にわずか3cm幅の平面型振動板を有した新開発のPMAS方式の平面波SPユニットを採用。基本性能(コスト・最大音圧等)不足が原因で、プロオーディオでの使用には不向きと考えられてきた平面波スピーカですが、独自技術により大振幅時でも安定した出力を得ることを低価格で実現可能にしています。

【独立バックキャビティアレイ™】

SOUND POLE series では線状音源の構築方式としてSPユニット毎に独立した密閉型エンクロージャーを有する【独立バックキャビティアレイ™】を採用。これにより一般的なラインアレイスピーカに見られる極端なピークディップ発生の原因となる筒型のエンクロージャー内での背圧の不均等や定在波の発生を抑え、DSP等による事前調整を必要としない理想的な周波数特性を得る事を可能にしました。



【幅広い用途へ効果的に対応可能】

理想的な線状音源を有した SOUND POLE series を導入する事で、様々な空間においてより一層適正な設備運用が可能となります。また正真正銘のラインアレイスピーカシステムの持つ優れた特性は、今までに無いまったく新しい音の使用方法を創出し、より積極的に音響設備を利用できるような可能性を示唆します。

【会議室】
明瞭性・耐ハウリング性



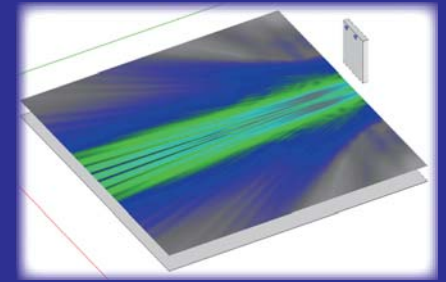
【チャペル】
意匠性・残響抑制(明瞭性)



【体育館】
残響抑制・音場の均一性



【エリアゾーニング】
全帯域において均一に制御された指向特性により、エリアゾーニングにも適します。また周囲への騒音対策として大型ビジョンなどでは画面の全面にのみ音を拡散するような場合にも効果的です。



【教室】
音場の均一性(遠達・明瞭性)



【多目的室・宴会場】
汎用性・可搬性・意匠性



【ホール・講堂】
大空間における音場均一性



製造・販売元 **リオス株式会社**

〒431-0102 静岡県浜松市西区雄踏町宇布見 5141 URL : <http://www.reos.co.jp>

TEL : 053-597-1660 FAX : 053-597-1661 mail : info@reos.co.jp

Linear sound source speaker system

SOUND POLE series

型番	SP-16-R	SP-8-R	SP-4-R	SW-4WB	SW-4WS
使用スピーカユニット	PMAS方式 平面波スピーカユニット × 16	PMAS方式 平面波スピーカユニット × 8	PMAS方式 平面波スピーカユニット × 4	アルミハニカム振動板 平面波ウーファーユニット × 4	
インピーダンス	8Ω	4Ω	8Ω	8Ω	
実効周波数範囲	180Hz ~ 10kHz	200Hz ~ 10kHz	200Hz ~ 10kHz	80Hz ~ 220Hz ※アナログネットワーク内蔵	80Hz ~ 180Hz ※アナログネットワーク内蔵
出力音圧レベル	94dB (1w1m)	91dB (1w1m)	88dB (1w1m)	93dB (1w1m)	
耐入力 (定格 / 最大)	160W / 320W	80W / 160W	40W / 80W	120W / 240W	
水平指向特性	140° (180 ~ 10kHz, -6dB)	140° (200 ~ 10kHz, -6dB)	140° (200 ~ 10kHz, -6dB)	オムニ	
垂直指向特性	0° (スピーカ高さで直進)	0° (スピーカ高さで直進)	0° (スピーカ高さで直進)	オムニ	
入力端子	4Pスピコン	4Pスピコン	4Pスピコン	4Pスピコン × 2	
外形寸法 (mm)	φ90 × 1861 円筒型 (※背面突起部除く)	φ90 × 1011 円筒型 (※背面突起部除く)	φ90 × 561 円筒型 (※背面突起部除く)	W500 × H225 × D500 ※ジョイントフォルダー部除く	W400 × H474 × D184
重量	約 10kg	約 6kg	約 4kg	約 12kg	約 13kg
カラー	ブラック・ホワイト	ブラック・ホワイト	ブラック・ホワイト	ブラック・ホワイト	

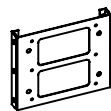
サウンドポールスピーカーシステム
SP-16-R

サウンドポールスピーカーシステム
SP-8-R

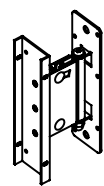
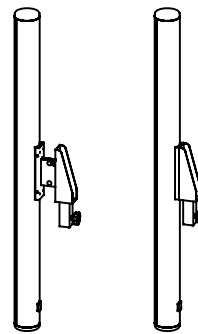
サウンドポールスピーカーシステム
SP-4-R



BOX型ウーファー
アナログネットワーク内蔵
SW-4WB



SW-4WB 用 壁面固定金具
SW-WSM

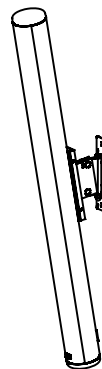


SP-16・8・4-R 用
壁面固定金具
SP-WSM

SP-16-R 用 スタンド型ウーファー
アナログネットワーク内蔵
SW-4WS

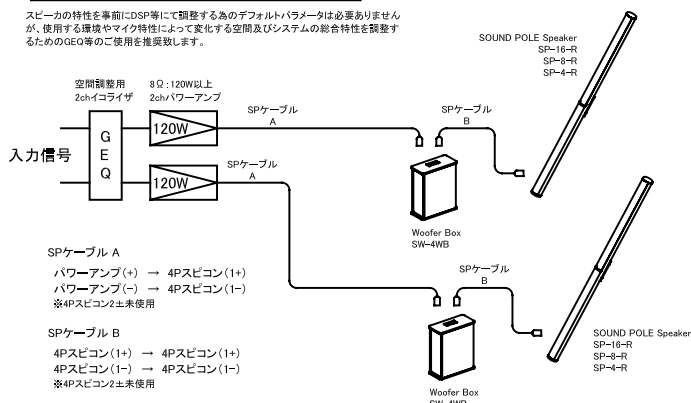


SP-16・8・4-R 用
ポールスタンドアダプター
SP-ADPT



SP-16-R + SW-4WB 1対向システム 接続概要

スピーカの特性を事前にDSP等にて調整する為のデフォルトパラメータは必要ありませんが、使用する環境やマイク特性によって変化する空間及びシステムの総合特性を調整するためのGEQ等のご使用を推奨致します。



SP-16-R + SW-4WS 1対向システム 接続概要

スピーカの特性を事前にDSP等にて調整する為のデフォルトパラメータは必要ありませんが、使用する環境やマイク特性によって変化する空間及びシステムの総合特性を調整するためのGEQ等のご使用を推奨致します。

